

現代芸術創造事業
Breaker Project

ラウンドテーブル

アート × 場づくり

創造の場が生み出す人のつながり

ゲスト

竹田恵子 (研究者)

きむらとしろうじん (美術家)

進行

雨森 信 (Breaker Project ディレクター)

2021年
3月20日 [土・祝]
15:00-18:00頃

大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco] 4F

ブレーカープロジェクトでは、2011年より西成区を拠点に空き家や空き店舗、廃校跡などを活用し、地域に開かれた創造の場づくりに取り組んでいます。なかでも、美術家・きむらとしろうじんじんを中心に始動した廃校跡でのプロジェクト「作業場@旧今宮小学校」(2015年～)では、魅力的な作業を生み出し、誰もが立ち寄りたくなる場をめざして継続した活動を展開することで、未就学児から80代までの多世代が集まるサードプレイスを形成しつつあります。こういった社会と関わるアートプロジェクトは全国的にも増加し、疲弊する地域や都市の再生、また福祉や教育の現場など様々な社会の領域における課題に対して、これまでにない多様な価値を提示するアートの創造性に期待が集まる一方で、「アートの自律性」や「関わりの質」についても問われるようになっていきます。

今回のラウンドテーブルでは、「作業場@旧今宮小学校」に入り、フィールドワークを行いながらインタビュー、アンケート調査を実施した竹田恵子さんをゲストにお迎えし、作業場における社会関係資本(人と人のつながり)の蓄積について報告いただき、地域に根ざしたアートの実践がもたらす成果や可能性について掘り下げていきます。現在は新型コロナウイルスの出現によって活動の中止や延期が相次ぐなど、人と人が接触する機会は減少し、地域においてもコミュニティの存続がますます危ぶまれる状況にあるなかで、「作業場」のように身近に立ち寄れる場があることの必要性を改めて感じています。社会・地域とアートをめぐる様々な課題や現状を共有しつつ、今後の展望についてもディスカッションできればと思います。興味のある方はぜひご参加ください。

2021年3月20日[土・祝] 15:00-18:00頃(開場14:30)

会場 大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco] 4F

参加費 500円 定員 30名(要申込)

プログラム 【1部】「作業場における人と人とのつながりとは」竹田恵子
【2部】ディスカッション | 竹田恵子・きむらとしろうじんじん
※参加者のみなさんを変えたラウンドテーブルも予定

ゲストプロフィール

竹田恵子(研究者)

東京大学情報学環特任准教授を経てお茶の水女子大学特別研究員、博士(学術)。芸術分野におけるジェンダー / セクシュアリティ教育の普及を推進する団体であるEGSA JAPAN代表。主な著作に、共著『The Dumb Type Reader』(Museum Tusulanum Press, 2017年)、単著『生きられる「アート」—パフォーマンス・アート《S/N》とアイデンティティ』(ナカニシヤ出版、2020年)、共著『ガールズ・メディア・スタディーズ』(北樹出版、近刊)等がある。

お申し込み方法

「お名前」「参加人数」「ご所属(ご職業)」「電話番号」を明記のうえ、下記メールアドレスまでお申し込みください。

お問い合わせ

ブレーカープロジェクト事務局

TEL: 070-5046-8667

E-mail: info@breakerproject.net

URL: https://breakerproject.net/

※開催にあたっては、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて実施します。状況により、予定を変更する場合がありますので、最新情報はウェブサイトをご確認ください。また参加される方には、会場内でのマスクの着用および受付時の検温、入場時の手指の消毒のご協力、「大阪コロナ追跡システム」及び「接触確認アプリCOCOA」への登録をお願いしております。

主催: ブレーカープロジェクト実行委員会
(大阪市、NPO法人記録と表現とメディアのための組織、一般社団法人 brk collective)
共催: 大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]
助成: 一般財団法人地域創造
ディレクター: 雨森 信 事務局: 松尾真由子/高岩のみり

Breaker Project

大阪市が推進する文化事業として2003年より始動。浪速区・新世界からスタートし、現在は西成区を拠点に継続して活動する地域密着型のアートプロジェクトです。独自の表現手段を開拓するアーティストとともに、まちの中に創造の現場を生み出し、地域の人々と、さまざまな関わりをつくりながら、「芸術と社会の有効な関係」を再構築していくものです。

作業場@旧今宮小学校

2015年に廃校になった今宮小学校の校庭の一角で、きむらとしろうじんじんを中心に、小学校に残る陶芸窯や学習園、廃材、倉庫などを活用し、誰もが立ち寄れる作業場をつくってみる実験。じんじんの言う“ええ風景”を抛り所に、月1-2回のペースでオープンし、地域内外より継続して参加するコアメンバーや新規参加者とともに、実践を積み重ねながら新たな場づくりに取り組んでいます。

ちょちまうヴァナキュラー ～にしなり+路上+野点+屋台

川村文化芸術振興財団のソーシャリー・エンゲイジド・アート支援助成を受けて、2021年度、きむらとしろうじんじんとともに実施する新たなプロジェクト。本企画は、「作業場@旧今宮小学校」の取り組みをベースに、地域内外の参加者と考える多種多様な「魅力の予感」を路上に持ち出し、表現の場として活用していくことで公共空間の在り方を再考していくというものです。

プロジェクトメンバー募集!

プロジェクトの本格始動に向けて、長期的に関わっていただけるメンバーを募集しています。じんじんの「野点(のだて)」を手伝いたいという方、自分で屋台を出してみたいという方などなど、老若男女、経験は問いません。興味のある方は<作業場@旧今宮小学校>にご参加いただくか、事務局までご連絡ください!

※4月以降の予定は順次ウェブサイトで公開します。

きむらとしろうじんじん(美術家)

1967年新潟県生まれ、京都府在住。京都市立芸術大学大学院美術研究科で陶芸を学ぶ。修了後、アート&コミュニティーセンターの運営やHIV/AIDS・セックス・セクシュアリティに関するNGO活動の立ち上げ・運営、滞日外国人支援のためのカフェの立ち上げ・運営に関わる。1995年より、大小2台のリヤカーに、陶芸窯・素焼きのお茶碗・うわぐすりなどの陶芸道具一式と、お抹茶セット一式を積んでまちの様々な場所にあらわれる移動式カフェー巡回のお茶会「野点—焼立器飲茶美味窯付移動車」を全国各地で開催。現在も絶賛続行中。2010～2013年度には東京アートポイント計画の一環として、一般社団法人「谷中のおかって」とともに東京都台東区谷中界隈を舞台にこども創作教室「ぐるぐるミックス」の立ち上げに関わる。2011年の震災を契機に岩手・釜石のかまいしこども園・釜石市民ホールと連携した釜石版ぐるぐるミックスも立ち上げ、続行中。ブレーカープロジェクトとは2004・2005・2007年に新世界・西成界隈で野点を広範囲で開催し、2014年に今宮小学校での野点を契機に「作業場」の立ち上げ・運営に関わり、現在も絶賛続行中。

江之子島文化芸術創造センター [enoco]

大阪市西区江之子島2-1-34

地下鉄千日前線/中央線「阿波座駅」⑧番出口より西へ約150m(徒歩約3分)

